

東日本大震災から10年の音楽復興支援コンサート

第8回 バチカンより日本へ祈りのレクイエム 2021

鎮魂のレクイエムと モーツァルト 生きる喜びの第九 ベートーヴェン



《特別ゲスト》
フランチェスコ・
モンテリーズィ枢機卿

薮田翔一作曲
"祈りの灯火"

モーツァルト作曲
「レクイエム」第8曲"涙の日"まで

ベートーヴェン作曲
「第九交響曲」第一楽章、第四楽章

※曲目、出演者が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。



ダニエレ・アジマン (指揮)



ロイヤルチェンバーオーケストラ



羽山 弘子
(ソプラノ)



安藤ゆかり
(ソプラノ)



永松圭子
(メゾソプラノ)



榛葉 昌寛
(テノール)



村田 孝高
(バリトン)

(合唱) Japan Chorus Force
(合唱指導) 大貫浩史

〈ホール内彫刻作品〉眞壁簾 (彫刻家)

2021年3月12日 FRI

17:30 開場 / 18:30 開演

Bunkamura オーチャードホール

全席指定(税込) SS¥20,000 (プロジェクト応援特別席・お土産付き)
S¥10,000 A¥8,000 B¥6,000 ※未就学児童は入場不可

- チケット取扱い
- イープラス <http://eplus.jp>
 - チケットぴあ <http://t.pia.jp/> 0570-02-9999 (Pコード:192-997)
 - ローソンチケット <http://l-tike.com/> (Lコード:31651)
 - Bunkamura チケットセンター 03-3477-9999

チケットお問合せ
ホットスタッフ・プロモーション TEL:03-5720-9999 (平日10:00~16:00) <http://www.red-hot.ne.jp/>
オフィシャルHP <http://www.inorinrequiem.sakura.ne.jp>

【主催】バチカンより日本へ祈りのレクイエム実行委員会

【協力】 Bunkamura LA MONTINA 奈良龍二バイオリン教室 【助成】一般社団法人東京倶楽部 / 一般財団法人生涯学習開発財団

【特別協賛】 東急グループ

【協賛】 清水建設 太陽生命 NTT DATA 一般財団法人 凸版印刷三幸会 vene 三井化学株式会社

PROFILE



ダニエレ・アジマン(指揮)

作曲、ピアノ、合唱指揮、オーケストラ指揮、イタリアオペラを学び、マリオ・グゼッタ国際指揮者コンクールで優勝後、イタリア各地を代表するオーケストラや、ヨーロッパの名門楽団と共演し、特にオペラ指揮者、芸術監督として高い評価を得ている。現在はイタリア最高の音楽院として名高い国立ミラノ・ヴェルディ音楽院指揮科教授、オペラ科主任、ロッシェニ歌劇場管弦楽団常任指揮者、ロッシェニ歌劇場相談役、倉敷作陽音楽大学名誉教授を務める。



ロイヤルチェンバーオーケストラ

1987年に今上天皇徳仁陛下を楽団長として設立された「梓室内管弦楽団」に内外の一流オーケストラで活躍した経験のある音楽家が参加し、1993年陛下のご成婚記念CD制作をきっかけに指揮者、故・堤俊作によって設立された。「ウィーンフィルの奏法」を模範とし、豊かで色彩に富んだ音色による正統的な演奏を理想とし、歴史的解釈を踏まえたヨーロッパの伝統に可能な限り近づく真のオーケストラであることを追求し、精力的に活動している。2005年にはアイルランド、ベルギー、ルクセンブルグ、イタリアの4か国6都市でのヨーロッパツアーを大成功させ、中でもミラノの由緒あるダル・ヴェルメ劇場、ヴィチエンツァの世界遺産オリンピコ劇場でのコンサートは、イタリア人の聴衆から大絶賛された。イェルク・デームズ、ルチア・アルベルティ、ミッシェル・マイスキー、スタニスラフ・ブーニンなど世界的に活躍する演奏家を招き、そのアンサンブルは聴衆のみならず、演奏家にも絶賛されている。管弦楽はもちろん、オペラ、バレエも得意とし、ヨーロッパの歌劇場管弦楽団のような楽団であるという評価を受けている。



羽山 弘子(ソプラノ)

広島県出身。桐朋学園大学短期大学部卒業。東京音楽大学卒業。同研究科修了。1994年イタリア政府給費留学生として渡伊。ヴェローナ市ダッラーバコ国立音楽院を卒業。二期会オペラ研究所プロフェッショナルコース第3期修了時に第1回中山悌一賞を受賞。1998年第34回日伊音楽コンクール入選。1998年第29回イタリア声楽コンソルソ・シエナ部門金賞受賞。オペラでは二期会公演や東京オペラプロデュース公演はじめ日本初演のオペラなど数々の作品に出演。近年では広島シティオペラ、江東オペラ、荒川区民オペラ等に主演。また第九や宗教曲のソリストとしても多数出演している。東京オペラプロデュースメンバー。二期会会員。



安藤 ゆかり(ソプラノ)

武蔵野音楽大学声楽科卒業。同大学修士。大学学長奨励学生取得。テニス世界大会ワールドカップ・日本対ドイツにて国歌斉唱。2017年、第19回万里の長城杯・国際コンクール声楽部門第1位・全部門第1位中国駐大阪総領事賞受賞。第22回尾東音楽コンクール第1位。第16回 Kobe 国際音楽コンクール第2位。KADOKAWA書店「クラシックの名曲100選」アルバムAve Mariaに歌声が抜擢される。2016年、振動工学者第一人者の前田節雄教授からハイレゾ測定分析結果により「天使の歌声」と表明される。日本初舞台化音楽劇「トムとジェリー～夢もう一度～」キュービッド役で好評を得る。藤原歌劇団正団員。



永松 圭子(メゾソプラノ)

京都市立芸術大学音楽学部声楽専修卒業。同大学院音楽研究科修了。90年京都音楽協会賞受賞。94年第10回新・波の会日本歌曲コンクール第2位受賞。ドイツリート、日本歌曲、童謡唱歌のコンサートやリサイタルを行い、バロック期から、古典、ロマン派、近代に至る宗教曲のソリストとして合唱団、オーケストラとの共演を重ねている。声楽を岩津整明、蔵田裕行、C.オッカー、藤原薫、D.ハーバー、三井ツヤ子の各氏に師事。日本歌曲関西波の会、日本歌曲協会、日本ドイツリート協会、日本シューベルト協会、神戸フォーレ協会会員。大阪芸術大学客員教授、同志社女子大学嘱託講師、華頂短期大学、京都市立京都堀川音楽高等学校非常勤講師。



榛葉 昌寛(テノール)

東京芸術大学卒業後、国際ロータリー財団奨学生として国立ミラノ・ヴェルディ音楽院にて学ぶ。テラモ市立劇場での「椿姫」アルフレード役にてデビューし、その後オペラ、コンサート活動はイタリアのみならず、ヨーロッパ、アメリカ、カナダなど華々しい。「13年より毎年「パチカンより日本へ祈りのレクイエム」を総合プロデュースし、東北復興の音楽支援をしている。'13年天皇賞(秋)、'15年プロ野球日本シリーズ初戦、'18日本シリーズ2度目の国歌独唱は大絶賛された。掛川市・ペーザロ市の姉妹都市提携にも尽力し、輝く掛川応援大使にも任命されている。

<http://www.masahiroshimba.com>



村田 孝高(バリトン)

国立音楽大学声楽科卒業。二期会オペラスタジオマスターコース修了。イタリア声楽コンソルソにてシエナ部門入選。パリデ・ヴェントゥーリ、ロレンツォ・サッコマーニに師事し、豊かな声量と歌唱力、存在感と表現力は大変定評がある。「リゴレット」、「ドン・ジョヴァンニ」など数々のオペラに出演し、ベルサイユ宮殿マリー・アントワネット劇場リサイタル、小林研一郎指揮「第九」、聖パオロ大聖堂、聖マリア・マッジョーレ大聖堂にてアジマン指揮ロッシェニ歌劇場管弦楽団「レクイエム」、「荘厳ミサ曲」ソリストとして出演している。二期会会員。村田孝高のブログ～オペラと人生 <http://baramyu-manatsu.sblo.jp/>



藪田 翔一(作曲家)

2011年東京音楽大学大学院作曲科修了。第70回ジュネーブ国際音楽コンクール作曲部門優勝。ウィーンコンチェルトハウス100周年作曲賞最優秀作品賞。文化庁長官表彰(国際芸術部門)第26回出光音楽賞。2018年には小倉百人一首100首を歌曲として作曲し、全音楽出版社より歌曲集「小倉百人一首」が出版される。2019年にはNHK交響楽団、いずみシンフォニエッタ大阪等からの委嘱作品が初演され、今最も注目されている作曲家の一人である。